

■ Java プログラムで使用する API の説明

java.util

public interface SortedMap<K, V>

型 K のキーに型 V の値を対応付けて保持するマップのインタフェースを提供する。各キーは、一つの値としか対応付けられない。マップはキーの昇順に整列される。

メソッド

public V get(Object key)

指定されたキーに対応付けられた値を返す。

引数: key — キー

戻り値: 指定されたキーに対応付けられた型 V の値
このキーと値の対応付けがなければ null

public V put(K key, V value)

指定されたキーに指定された値を対応付けて登録する。このキーが既に他の値と対応付けられていれば、その値は指定された値に置き換えられる。

引数: key — キー

value — 値

戻り値: 指定されたキーに値が対応付けられていた場合は、その値
このキーと値の対応付けがなければ null

public boolean containsKey(K key)

指定されたキーに値が対応付けられている場合に true を返す。

引数: key — キー

戻り値: 指定されたキーに値が対応付けられていれば true
それ以外は false

public SortedMap<K, V> headMap(K toKey)

保持しているキーと値の対応付けのうち、キーが toKey より小さい全ての対応付けからなるマップを返す。

引数: toKey — キー

戻り値: キーが toKey より小さい全ての対応付けからなるマップ

public K lastKey()

ソートマップ内に現在ある最後のキーを返す。

戻り値: ソートマップ内に現在ある最後のキー

java.util

public class TreeMap<K, V>

インタフェース SortedMap の実装である。

メソッドの説明は、インタフェース SortedMap の項を参照

コンストラクタ

public TreeMap()

空の TreeMap を作る。マップはキーの自然順序付けに従って整列される。

java.util

public interface List<E>

リスト（順序付けられたコレクション）のためのインタフェースを提供する。

メソッド

public boolean add(E e)

指定された要素をリストの最後に追加する。

引数： e — リストに追加する要素

戻り値： true

public E get(int index)

リスト内の指定された位置にある要素を返す。

引数： index — 返される要素のインデックス

戻り値： リスト内の指定された位置にある要素

例外： `IndexOutOfBoundsException` — indexが範囲外するとき

public int indexOf(Object obj)

指定された要素がリスト内で最初に検出された位置を返す。

引数： obj — 検索する要素

戻り値： 指定された要素がリスト内で最初に検出された位置

リストにこの要素がない場合は -1

java.util

public class ArrayList<E>

インタフェース `List` の配列による実装である。

メソッドの説明は、インタフェース `List` の項を参照

コンストラクタ

public ArrayList(int n)

指定された大きさの空リストを作る。

引数： n — リストの大きさ